

京東の物流開放でどうなる宅配便市場

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

<要約と結論>

EC 大手の京東集団が、自前の物流網を対外開放すると発表した。京東の配送サービスは全国のほとんどの地域をカバーしており、利用者からの評価もたいへん良い。ネットショップ等の小売事業者が、他の物流業者から乗り換える可能性は大いにある。

京東は今後、さらに物流のスマート化に取り組む方針を示している。人工知能やビッグデータ等を駆使することで運営の自動化と効率化を高め、京東物流が「中国の商業社会における重要なインフラ」となることを目指すという。強大なライバルの登場で中国の物流・宅配サービス全体の質の向上が期待される。

1. 物流サービスを開放

直販型 EC 最大手の京東集団(JD.com)は 2016 年 11 月 23 日、商品の配送に利用していた自前の物流網を「京東物流(JD Logistics)」のブランド名で小売事業者に開放すると発表した。



同社は 2004 年に EC 事業をスタートした。当初は民間の宅配業者を利用していたが、配送員の態度や荷物の状態にクレームが集中していたことから、2007 年に北京、上海、広州の 3 カ所に物流拠点を設けて自社配送サービスを始めた。京東の運営責任者を務める王振輝・高級副総裁は、京東物流について「倉庫・輸送・配送・カスタマーサービス・アフターサービスの一体化ソリューション」と説明。物流インフラとノウハウを社会に開放することで、100 万を越える小売事業者と無数の消費者が恩恵を受けられるとアピールしている。

2. 全国をカバーする京東物流

京東物流には小中型荷物物流網、大型荷物物流網、低温物流網の三大物流網があり、



全国にスマート物流センター7カ所、大型倉庫254カ所、営業所・受け取り専用窓口が6,780カ所ある。大型倉庫を含む物流倉庫の延べ床面積は550万平米に及び、中国全土の93%にあたる2,646の区と県をカバーしている(2016年9月時点)。さらに全国42都市では、主要都市での当日配送、返品等に便利な個人宅への訪問集荷・代引き・運送保険等に対応する“京東エクスプレス”サービスを提供している。

京東によると、ネットショップ事業者が他の物流会社から京東物流へ乗り換えた場合、在庫のサイクルタイムは平均8日、発送までの日数は平均2日それぞれ短縮でき、売上高は平均87%増加し、顧客満足度も平均113%向上するという。

3. 中国の物流サービス全体の底上げに期待

かねてより京東の配送サービスは質が高いと評判だった。国家郵政局申訴中心によれば2016年10月の苦情数は、全国平均が荷物100万個あたり5.99件のところ、京東は0.33件にとどまる。苦情理由のうち紛失は0.02件(全国平均は1.66件)、遅延は0.09件(同1.81件)で、主要物流事業者25社の中で最も“優秀”だ。今回の京東物流の開放は他社にとって強大なライバルの出現に他ならない。2017年以降、市場全体のサービス水準の向上に拍車がかかり、一方で低レベルな事業者の淘汰も進むだろう。

京東グループは、ネットショップ運営者等に京東物流への乗り換えを促すとともに、さらなる物流のスマート化に取り組むとしている。具体的には、クラウドコンピューティングや人工知能、ビッグデータ、ロボットを使い、運営の自動化・データ化・効率化を高め、コストとリスクを下げるという。「京東物流を中国の商業社会の重要なインフラにする」という同社の目標は、近い将来に実現するのではないだろうか。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。本書の内容は2016年12月19日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776